

3日 日曜

詩篇

<64> 指揮者のために。ダビデの賛歌。

64:1 神よ私が嘆くとき私の声を聞いてください。敵の脅かしから私のいのちを守ってください。

64:2 どうか私をかくまってください。悪を行う者どものはかりごとから不法を行う者どもの騒ぎから。

64:3 彼らはその舌を剣のように研ぎ澄まし苦いことばの矢を放っています。

64:4 全き人に向けて彼らは隠れた所から射掛け不意に矢を射て何も恐れません。

64:5 彼らは悪事に凝っています。示し合わせてひそかに罠をかけ「だれが見破ることができよう」と言っています。

64:6 彼らは不正を企み「企んだ策略がうまくいった」と言っています。人の内なる思いと心とは底が知れません。

64:7 しかし神が彼らに矢を射掛けられるので彼らは不意に傷つきます。

64:8 彼らは自らの舌につまづきました。彼らを見る者はみな頭を振って嘲ります。

64:9 こうしてすべての人は恐れ神のみわざを告げ知らせそのなさったことを悟ります。

64:10 正しい人は【主】にあって喜び主に身を避けます。心の直ぐな人はみな誇ることができます。

悪者は悪を行うのにすぐれています。時に信仰者も太刀打ちできないときがあります。あのダビデ王でもそのように感じて悩んだことがあったのでしょうか。しかし「神は、矢を彼らに射掛けらる」と確信しています。

ですから「正しい者」でいられるのです。最も強



い方である主が「正しい者」のために戦ってくださるからです。世の人が不正や悪で成功し、勝利しているように見えますが、そのような価値観に惑わされないようにしましょう。主にあって喜びましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

